



福島県いわき市立玉川中学校

学校だより

たまがわ

10

発行責任者 校長 丹野 英雄

第10号 令和7年1月15日発行

【校章の由来】

中央の円は玉川地区の和と円満さを、縦の2本線は学区内を流れる2つの川を表しています。清い川の流れの水しぶきを受け、発展する玉中を象徴するデザインになっています。

学校では、子どもたちの教育を進めるにあたり「教育目標」を大きな柱として、「教育計画」を作成し、組織的・計画的に日々の教育活動を行っています。本校では、知育・徳育・体育の3領域をバランスよく育み、近い将来、社会人として貢献できる資質や能力を身に付けて卒業できるよう指導・支援にあたり、それらの取り組みが子どもたちの成長に結びついているかを学期ごとに点検・評価し、改善に努めています。

これらの学校の点検・評価が、主観的・独善的にならないように20年近く前から生徒や保護者の皆さんにも「教育活動に関するアンケート」に協力いただいています。その集計結果については、本日付のプリントで家庭にお知らせするとともに、いただいた意見や要望に対する学校の考えを示しました。

なお、学校では現在、今年度の点検・評価・改善に加え、次年度へ向けた教育課程の編成作業も着実に進めています。

《2学期末までの教育活動に関する保護者アンケート集計結果》

No.	質問内容	今年度	前年度
1	学校の教育目標や指導方針がよく理解できる。	3.0	3.2
2	学校の様子が、学校だよりやWebページ等によくわかる。	3.3	3.4
3	学校は、学校行事を工夫するなど特色ある教育活動を展開している。	3.1	3.2
4	通知票は見やすく、子どもの学習状況や生活ぶりがよくわかる。	3.3	3.4
5	学校は、保護者・地域の願いに応えようとしている。	3.1	3.3
6	先生方は、一人一人の子どもの理解に努め、指導している。	3.2	3.3
7	学校は、いじめの予防、早期発見、早期解決に積極的に取り組んでいる。	3.1	3.2
8	学校の施設・設備面の管理・修繕等が適正になされ、有効に活用されている。	3.0	3.0
9	学校は、校舎内外ともに清掃が行き届いており、清潔感のある環境である。	3.2	3.3
10	校地内の危険箇所への安全管理が十分なされ、子どもたちが安心して生活できる。	3.2	3.3
11	保護者は、PTA活動（含 部活動保護者会）に積極的に協力している。	2.8	3.0
12	学校は、家庭への連絡や情報提供をメール配信等によりきめ細かく行っている。	3.3	3.5
13	学校は、保護者がいつでも学校を訪れたり相談したりできる雰囲気である。	3.1	3.3
14	学校は、保護者や地域との連携のもと開かれた教育活動に努めている。	3.1	3.2
15	学校は、家庭との連絡を密にし、共に子どもを育てようという姿勢をもっている。	3.1	3.2
16	子どもは、意欲的に学習に取り組んでいる。	2.9	3.1
17	子どもは、社会のルールや学校のルールを守っている。	3.3	3.4
18	子どもは、運動または文化的活動（含 部活動）に積極的に参加している。	3.3	3.3
19	子どもは、好ましい友達関係が築けている。	3.2	3.3
20	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	3.1	3.1
21	家庭では、しつけや基本的生活習慣などに注意を払って指導している。	3.2	3.2
22	保護者・地域は、玉中生を地域の子どものとして関心をもって見守っている。	3.2	3.3
23	本校の学校行事（若葉祭、授業参観等）に参加できた。	3.3	3.3
24	本校の学校教育に満足している。	3.1	3.2

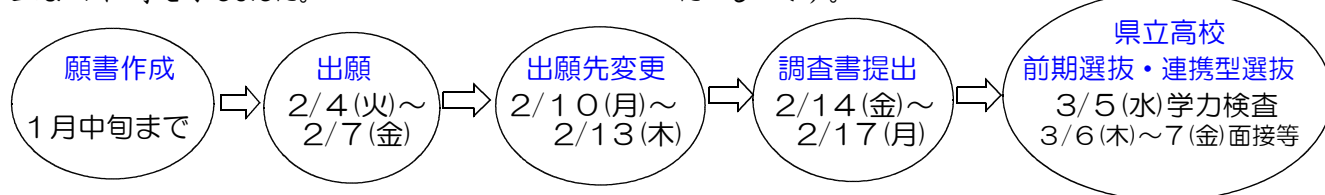
（よくあてはまる…4 ややあてはまる…3 あまりあてはまらない…2 全くあてはまらない…1）を数値化しました。3以上であれば肯定的な評価が多かったものと読み取れます。なお、比較のため昨年度の数値も示しておきましたので、ご参照ください。

今年度を振り返りつつ、新年度へ向けた準備も進めています

3年生は今…進学に向けて準備を進めています

3年生は、11月以降数回にわたり実施した三者懇談の結果を踏まえ、志望校がほぼ決定しました。現在は、県立高校や私立高校等の入試に向けて準備を進めているところです。次に県立高校の前期選抜(一般選抜・特色選抜)と連携型選抜に係る主な日程等を示しました。

入試に向けては、学力の維持・向上はもちろんのこと、出願書類の記入など、やるべきことがたくさんあります。しかも、期限が定められているので細心の注意を払う必要があります。直前で慌てることがないように日程等を再確認し、ゆとりを持って準備を進めたいものです。



①生徒や保護者が作成する書類《入学願書等》

入学願書には、志願校や学科、志願者氏名、住所、生年月日等の必要事項を志願者が自筆で記入し、保護者氏名は保護者が自筆で記入します。(福島県収入証紙は、個人で購入したのち学校でまとめて貼付します。)

特色選抜の出願者は、入学願書と併せて志願理由書の提出が必要となります。志願理由書には、その学校や学科を志望する理由、入学後に取り組みたいことや高校卒業後の進路希望、中学校生活での実績や自己アピール等を記入します。

②学校が作成する書類《調査書》

中学1年から3年3学期までの学校生活の様子について全職員で作成します。学習成績、出欠の記録、学級活動や生徒会活動・部活動等の様子、特技や漢検・英検・数検などの取得資格を記載します。

子どもの心に火を灯すためには…

幼少期の子どもは、「お母さん見て。お父さん見て。」と、声をかけてきます。常に、自分に関心を持って、目を向けてほしいと願っているのです。小学校中学年くらいからは、声に出して言うことは少なくなりますが、それでも「僕のことをわかって。私のことをちゃんと見ていて。」と大なり小なり心の内で訴えています。

子どもをしっかりと見ていると小さな変化にも気づけるようになるものです。そうなったら、その気づきを言葉に表してみることをお勧めします。子どもが心底聞きたいと思っている言葉をタイミングよく伝えることができたなら、「お父さん、お母さんは、よく自分のことを見てくれているな。」と、実感することでしょう。さらに、自分がかげがえのない存在として認められていることに喜びと安

心を覚えるはずです。こうした積み重ねにより、子どもは勇気づけられ、やる気もグングン湧いてきます。些細な変化であっても小さな成長であっても、子どもの行動を見て、感じ取ったよさを具体的に声に出して伝えてみたいものです。

子どもは、自分に向き合い、認め、励ましてくれる人を求めています。近くにそういう大人がいれば、新たな勇気が湧き、自分から意欲を持って物事に取り組もうとするものです。子どもは本来、伸びようとする力を備えています。その力を引き出し、方向づけるのは、大人の役目だと思います。子どもが、自ら「学ぼう。できるようになろう。成長しよう。」とする意欲を力強く後押ししてあげられる大人でありたいものです。

【教育目標】

健康でたくましく生きる生徒
自ら進んで学習する生徒
思いやりをもち奉仕する生徒



QRコードを
読み取ると
本校ホーム
ページにつな
がります。

〒971-8127

福島県いわき市小名浜玉川町西24番地

TEL 0246-58-6711 FAX 0246-58-6712

E-mail tamagawa-jh@city.iwaki.lg.jp